



教会だより
ミルトス

ミルトスは、水がなくても育つ強い木であることから不死のイメージがあり、祝福と繁栄の象徴の木と言われている。

今年のみ言葉 「私たちすべてのために」

私たちすべてのために、ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡された神が、どうして、御子とともにすべてのものを、私たちに恵んでくださらないことがあるでしょうか。（ローマ書8章32節）

日本バプテスト教会連合
八千代キリスト教会
牧師 小林政和
八千代市大和田新田 94-77
047-450-1536・Fax:047-473-3925
メール：gpnng725@gmail.com
[URL/https://yachiyokyokai.org](http://https://yachiyokyokai.org)
郵便振替：00190-4-554373

どなたでも、ご自由にお入り下さい。お待ちしております。
日曜日・午前10時30分・礼拝
水曜日・午後1時30分・祈祷会

「天の軍勢が助けてくれます」

牧師 小林 政和

「すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように」(ルカ福音書2章13-14節)。この情景は羊飼いが野宿で夜番をしながら羊の群れを見守っていた時に突然使いが彼らの所に現れ、「今日ダビデの町にあなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」と福音が初めて伝えられ、聞いた人間が羊飼い(社会的にあまり評価されていなかった)でした。神の子の誕生の喜び歌を、羊飼いに聞かせるのに天使だけでは足りず、天の軍勢が応援に駆け付けます。我らの主のご降誕には、大合唱に天からの声援が必要だったのです。



この誕生より約700年前に、ヒゼキヤがユダの王だった時、アッシャリアのセナケリブがパレスチナに侵入していました。真の神のみを信じる善王ヒゼキヤは主の宮に上り、神の前に出て必死に祈ります。「私たちの神、主よ、今、アッシャリアが攻めてきました。私たちをセナケリブの手から救ってください。そうすれば地のすべての王国はあなたの神であることを知るでしょう。」と訴えます。当時立てられていた預言者イザヤを通して、神は「あなたがアッシャリアの王セナケリブについて、私に祈ったことを私は聞いた(Ⅱ列王記19章20節)。彼はもと来た道から引き返し、この町には入らない」と言われました(同33節)。

『その夜、【主】の使いが出て行き、アッシャリアの陣営で18万五千人を打ち殺した。人々が翌朝早く起きて見ると、なんと、彼らはみな死体となっていた。アッシャリアの王センナケリブは陣をたたんで去り、帰ってニネベに住んだ。』(同35-36節)。これは天の軍勢が戦ってくれたので、ヒゼキヤは勝利したのです。ユダは守られました。天の軍隊は18万5千人以上の人數がいたのかもしれないが、悪い噂が流れて、仲間の同士打ちをさせたりしてセナケリブ軍を敗退させました。天の軍隊はキリストの生誕の時、聖歌隊にも早変わりし、神を褒めたたえたのです。神の軍勢は、天から見ていて地上にピンチが起きたら、助けようとする緊急援助隊なのです。あなたは「力が足りないが、やらねばならないことが沢山ある」と嘆いていませんか。主は言われます。「天の軍勢を出動させて、あなたの仕事を助ける」。あなたが主にあって、ある仕事をやると決意すれば、後は天の軍勢が仕事をします。完成させます。あなたはそのような、天からの助けがあることを知っていますか。

12月24日(水) クリスマスイ
ブ礼拜

4時から始まった
イブ礼拝は、もう薄
暗くなり、キャンドル
の明かりが厳かさを
増しました。



終わってからのお茶会も、和やかなひと時とな

近隣の
イチョウ並木
(11月29日
撮影、下橋)



12月6日(土)東京基督教大学市民クリスマスコンサート

急遽参加が決まった当教会
4人のテノール。練習は3回のみ。おつかなびつくりの当日で
したが、大学のチャペルの大きな舞台に並び、パイプオルガン
の演奏で始まりました。4人のメ



ンバーはここぞとばかり声を張り合わせ、見事に歌い終わりました。指揮者の先生からは、慰労の言葉を頂き、記念写真を撮らせて頂きました。

12月21日(日)クリスマス礼拝・祝会

午前中の礼拝に続き、午後から祝会を行いました。歌あり、バンド演奏、名曲解説、紙芝居ありの楽しいひと時でした。最後にそれぞれ持参したプレゼントを交換し合いました。(下橋)





メンバー紹介 「印西市民クリスマスコンサートに参加して」

清嘉生巳年

12月6日(土)東京基督教大学チャペルにおいてクリスマスコンサートが開かれるので、一緒に参加しませんか。と小林先生から誘いを受けました。混声合唱団「市民合同聖歌隊」では男声の参加者が少ないので、主催者側から声が掛ったとの事でした。当教会の男性(小林政和牧師、池田英穂兄、下橋祐次兄、私の)4人がテナーとして加わる事になったのです。曲は「我らに平和を与えたまえ」「まきびとひつじを」「クリスマス選曲」の3曲です。すでにレッスンは始まっていて、我々は直前の3回のみでした。「テノール」の部分のメロディーを覚えるのが大変でした。とくに私は目が不自由なので、前もって暗譜しておかなければならず、当日まで不安でした。



演奏が始まると、周りの人たちにも導かれ、思い切って声が出ました。こんな大きなチャペルのパイプオルガンで歌えたことは、素晴らしい体験です。緊張したものの、楽しく歌えた事で、まあまあの出来だったと思っています。



やはり3回のレッスンでは、いかにも練習不足。前もって他の出演者の人たちとの交流の場がセットされ、交わりが欲しかったと思います。指揮の先生は我々の出演の前に、素晴らしい「ソプラノ」を聴かせてくれました。素敵な先生でした。レッスンの回数が少なかったのはやはり心残りです。神さまのご配慮により、貴重な体験ができたことを深く感謝しております。関係者の皆様ありがとうございました。

教会及び連合のスケジュール(予定)

- 09月21日(日) 創立29周年記念
- 10月05日(日) 10月運営委員会
- 10月19日(日) 聖餐式
- 11月03日(月)～04日(火) 連合2026年度予算総会
- 11月09日(日) 召天者合同記念会。雨天の為ラザロ靈園墓
日前礼拝中止
- 11月30日(日) アドベント第一、ミルトス58号発行・発送
- 12月08日(月) 日本バプテスト教会連合牧師会(Zoom)
- 12月11日(木) 横田早紀江姉を囲む祈り会
- 12月21日(日) クリスマス礼拝・祝会
- 12月24日(水) クリスマス・イブ礼拝
- 12月28日(日) 本年最後の礼拝、ミルトス59号発行・発送

祈って下さい

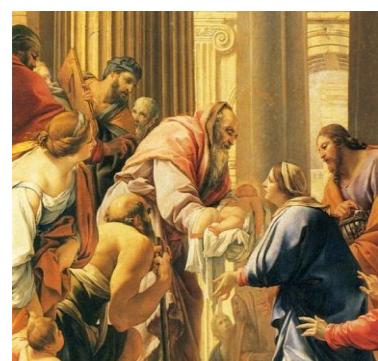
- 1)「バプテスト教会連合54教会の祈祷課題」が、み心にそって実現しますように
 - 2)横田めぐみさんはじめ拉致被害者の方々が、早く家族のもとに帰れるように
 - 3)ロシア軍に侵攻されているウクライナに、平和が回復するように
 - 4)イスラエルとパレスチナのハマスとの間の両者に、停戦・平和が実現できますように
 - 5)三郷教会の大澤美保夫人の、抗がん剤治療が副作用なく用いられ、健康が回復できますように
 - 6)吉田照子姉の腰の痛みがやわらげられますように
 - 7)洗礼を受けられた「ハ木明子」姉の信仰の成長のために
 - 8)成田のグループ・ホームにいる安藤真大兄の歩行機能が、劣化しないように

3分間講座

「救世主イエスの到来を祝福したシメオンとアンナ」

ヨセフとマリアは、誕生して40日がすぎたわが子イエスを、律法が定めた長子を神に捧げる儀式のためエルサレムの神殿に上りました。そのとき神殿の境内で二人の老人と出会います。老人のひとりはシメオンという名の神の戒めを外さない正しい人で、彼の上には聖霊が止まり、救い主と出会うまで、死ぬことはないとのお告げを受けていました(ルカ書2:25、26)。シメオンは聖霊に導かれて訪ねた神殿で幼子イエスを見つけます。感激してイエスを抱き上げて神を褒め称え、「お約束どおりあなたが遣わされた救い主にお会いできましたし、わたしはもう安心して死ぬことができます。この方はすべての国を照らす光、あなたの民イスラエル人の光榮です」と喜びに溢れて語りました。そして両親を祝福してから、マリアに「この子によって大きな喜びを受ける人は大勢います。しかしあるとき、それに逆らう人々の激しい反抗が起こり、あなたの心さえ剣で刺し抜かれます」とイエスの受難を伝えます(ルカ書2:34、35)。

もうひとりの老人は、アンナという預言者の女性です。アンナは7年間の結婚生活のあと、夫に先立たれてからは孤独の暮らしで、神殿を離れず日夜神に祈りを捧げ、救い主の到来を待ち望んでいました。このとき彼女はすでに84歳でした。彼女もイエスに近づき、この幼子こそ到来を待ち望んでいたイスラエルの救い主だと直感、神を賛美しました。そして祈りの成果として、自分も生きている間に救い主イエスを目に出たことを神に感謝し、エルサレム人々に、広く救い主のことを語り聞かせました(同書2:36-38)。その日は必ずくるとの神の約束を信じて待ち続けることに、二人は時にはいら立ちや諦めかけた気持ち、そして失望感もあったでしょう。それを乗り越えて何十年もひたすら祈り続けたのは、神との間にゆるぎない信頼があったからにはほかなりません。(池田)



「キリストの神殿奉獻」シモン・ ヴェーエ 作 1640~1641年

編集後記：猛暑の長い夏が過ぎ、やっと快適な秋空が現れたと思ったら、あっという間に木枯らしが吹き始めました。クリスマスも過ぎ、日々乾燥した低温が続きます。北陸や北海道では、雪が降り積もり、厳しい寒さに立ち向かっていかねばなりません。体が硬くなつて、年配者は転んでケガをしやすくなります。家庭内の事故が多いようです。ご自愛ください。感謝して祈りましょう。（下橋）